

# 大田原市の観光振興事業について

## 代表質問

政友公明会  
小池 利雄 議員



# 独居高齢者支援について

**質問**…大田原ブランドの推進状況と今後の計画についてお伺いいたします。

**答弁**…大田原ブランドの推進については、平成29年3月定例会の小池議員の代表質問でお答えいたしましたとおり大田原ブランドの認定に向けて準備作業を進めてまいりました。準備作業を進める中で、個々の商品を認定するのか、または例えば「大

田原市のとうがらし」のように包括して認定するかなどの認定基準やブランド認定マークの作成、不正使用への対策などさまざまな検討事項に時間を要しましたが、このたび認定制度実施要領を定めたところであります。

本市の産業振興やイメージの向上において、ブランド化の推進は不可欠なものと十分に理解しており、現在、与一和牛や大

田原の地酒、農産物、とうがらし、発酵食品などの認定を想定し、新年度のできるだけ早い時期に大田原市ブランド推進協議会を開催した上で速やかに募集を開始し、審査を入れた上で大田原ブランドの認定を行ってまいります。

**質問**…実施要領は、いつ付でつくられたのでしょうか。  
**答弁**…本日付（3月1日）です。

**質問**…ほほえみセンターが近くにない自治会の取り組みについて伺います。

**答弁**…高齢者ほほえみセンターは、介護予防拠点施設として市内に24カ所整備され、介護予防事業を積極的に展開しています。高齢者の増加とともに延べ利用者数も増加しております。市街地のセンターでは比較的利用者が徒歩で通所できる範囲に整

備されており、参加しやすい環境にあります。農村部等場所によっては交通の便が確保されず、ほほえみセンターに通うことができない高齢者の方もおり、足の問題を抱えている、議員ご指摘のとおりでございます。そのような中、自治公民館等によ

って介護予防事業等を実施し、ほほえみセンターと類似した活動を展開しているところもありま

す。今後ますます高齢化が進んでいく中、市内の高齢者が誰でも利用しやすく、地域に根差した取り組みとするためにも平成30年度中に自治会や公民館等と連携した介護予防に係る高齢者の集える場所の確保について協議することとしております。平成30年度中には何らかの方向性を出して、何らかの支援をしていければと考えております。